

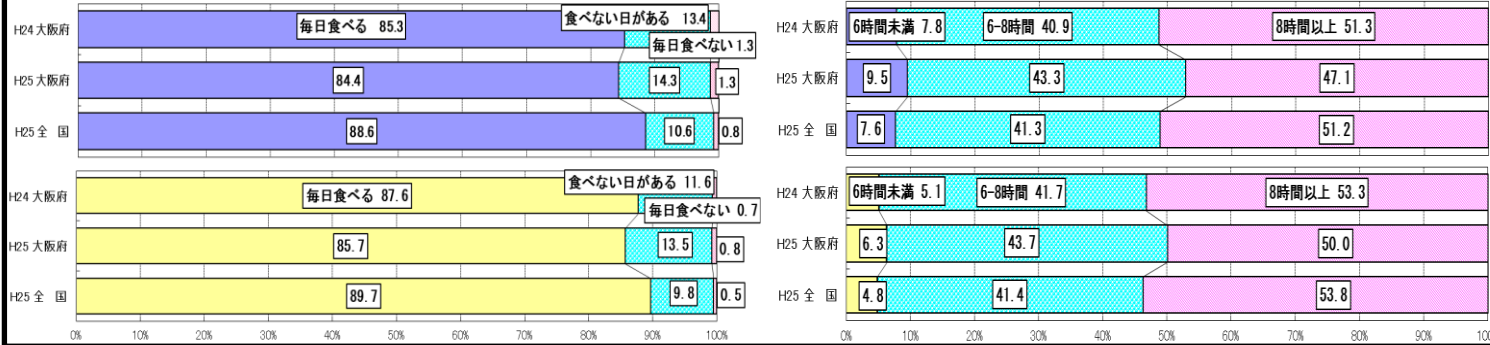
生活習慣の状況 (児童質問紙調査)

質問: 朝食は食べますか

- ・全国と比べ、「毎日食べる」の割合は低い。
- ・「毎日食べる」は、平成24年度と比べ、男子で0.9ポイント女子で1.9ポイント下回った。

質問: 1日の睡眠時間

- ・全国と比べ、睡眠時間が「8時間以上」の割合は低い。
- ・「8時間以上」は、平成24年度と比べ、男子で4.2ポイント女子で3.3ポイント下回った。



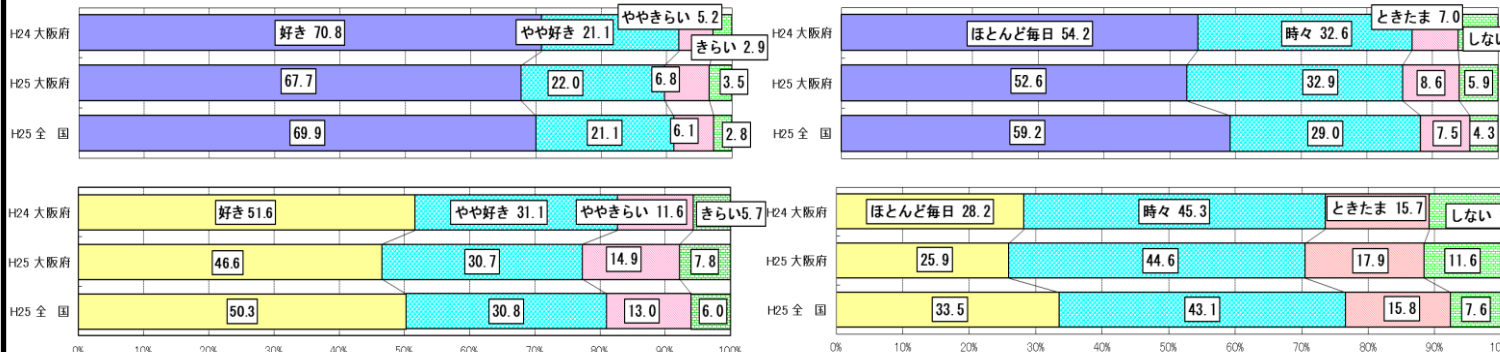
運動に関する意識、運動習慣の状況1 (児童質問紙調査)

質問: 運動やスポーツをすることは好きですか

- ・全国と比べ、「嫌い」「やや嫌い」の割合は高い。
- ・「やや嫌い・嫌い」は、平成24年度と比べ、男子で2.2ポイント、女子で5.4ポイント上回った。

質問: 運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育授業除く)

- ・全国と比べ、「ときたま」「しない」の割合は高い。
- ・「ときたま」「しない」は、平成24年度と比べ、男子で1.4ポイント、女子で3.0ポイント上回った。

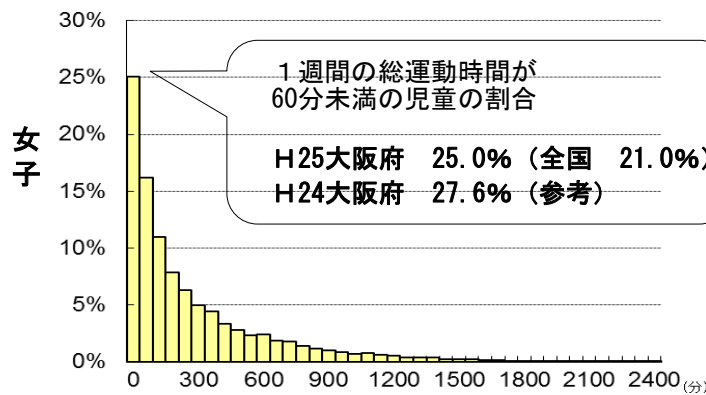
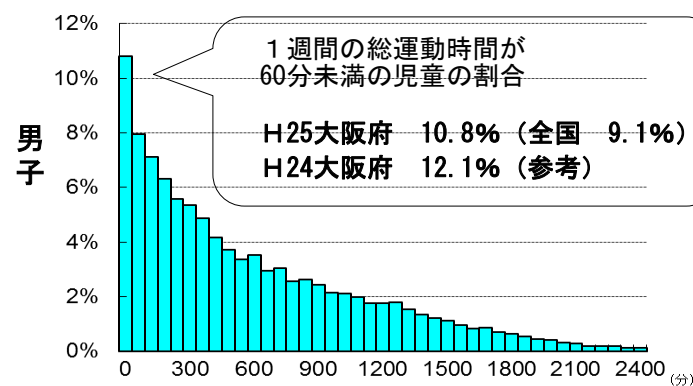


1週間の総運動時間との関連

- ・1週間の総運動時間の分布は、平成24年度調査と同様、運動をほとんどしない児童が多く、女子においては顕著であった。
- ・しかし、60分未満の児童の割合は、平成24年度と比べ、男子で1.3ポイント女子で2.6ポイント下回った。

1週間の総運動時間が60分未満の割合

小学校	男子		女子	
	大阪府	全国	大阪府	全国
H25	10.8%	9.1%	25.0%	21.0%
H24	12.1%	10.9%	27.6%	23.9%



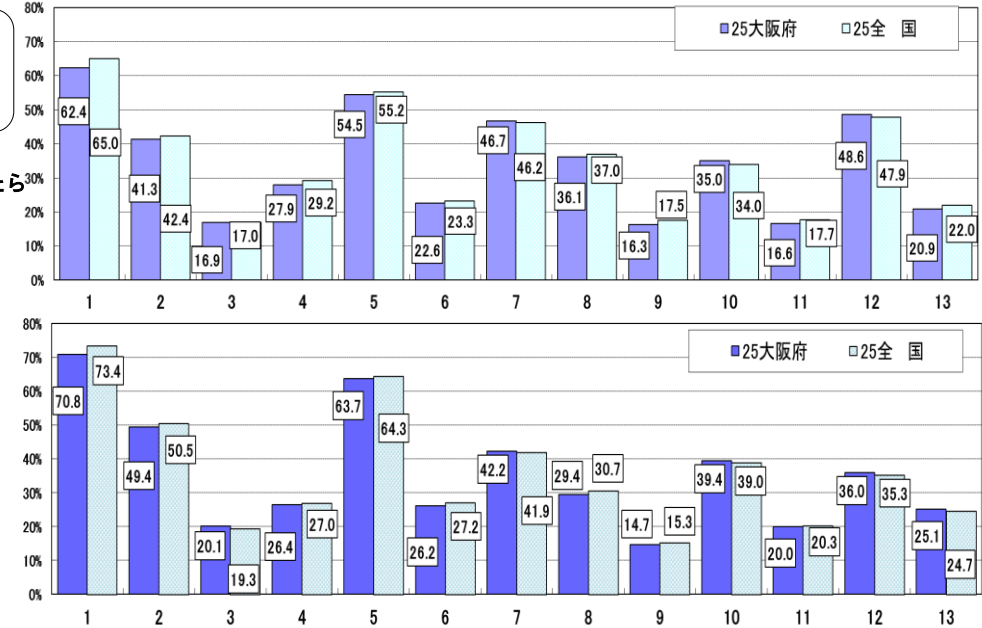
運動に関する意識、運動習慣の状況2 (児童質問紙調査)

質問: 今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。(複数回答可)

- ・男女ともに、「自分が好きな種目、できそうな種目があったら」が最も高かった。

※ 番号の質問内容

- 自分が好きな種目、できそうな種目があったら
- 上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができた
- 授業でいいに教えてもらえたら
- 一人でもできるものがあったら
- 友達といっしょにできたら
- 家族といっしょにできたら
- いつでも自由に遊べたり遊べる場所があったら
- 学校の中で自由な時間があったら
- 自分の体力、運動能力や体のことで不安なことがあったら
- 友達からさそわれたら
- 先生や家族からすすめられたら
- 運動やスポーツで活躍している選手、有名人に教えてもらえたら
- 体型の変化に効果があると分かったら



体力向上に関する取組(学校質問紙調査)

質問: 体育の授業以外の時間に具体的にどのようなことをしていますか。(複数回答可)

【※学校全体で児童の体力向上や、運動習慣を確立するために、体育の授業以外の時間に何か手立てをしていると回答した学校(85.7%)の実施内容】

- ・「休み時間などに、全員が運動やスポーツをする時間などを設定している」が67.1%と最も高く、次に「クラブ活動や学校行事で運動やスポーツを積極的に取り入れている」が54.2%であった。

※ 番号の質問内容

- 休み時間などに、全員が運動やスポーツをする時間などを設定している
- 特定の日に、スポーツ選手等を招聘して実技指導を行うような、運動やスポーツに関する啓発的な取組を実施している
- クラブ活動や学校行事で運動やスポーツを積極的に取り入れている
- 帰宅後や休日には児童が積極的に体を動かすよう児童や保護者に働きかけをしている
- 地域と連携して、児童が運動やスポーツをする機会をつくっている
- その他、独自の取組

質問: 実施した取組のうち、大きな成果が上がったと思われるものはどれか(複数回答可)

【※学校全体で児童が積極的に運動やスポーツに取り組むことができるように工夫をしていると回答した学校(79.8%)の実施内容】

- ・「休み時間など、教員が積極的に運動をするよう勧めたこと」が57.7%と最も高く、次に「授業や行事で多くの児童が活躍できるようにしたこと」が48.7%であった。

※ 番号の質問内容

- 授業や行事で多くの児童が好きそうな種目、できそうな種目を取り入れたこと
- 授業や行事で多くの児童が活躍できるようにしたこと
- 授業でできるだけ丁寧に教えるようにしたこと
- 授業や行事で成功体験を多く味わわせるようにしたこと
- 授業外や家庭でも行えるような運動を取り入れたこと
- 一定の規則のもと、児童がいつでも自由に体育館やグラウンドを使えるようにしたこと
- 児童が運動やスポーツを行うことができる自由な時間を多く確保したこと
- 運動と健康を関連付けて指導したこと
- 休み時間など、教員が積極的に運動をするよう勧めたこと
- 家庭や地域に対して働きかけを行ったこと
- その他、独自の取組

